

実施校 上越市立春日新田小学校

学年・人数 4年生・計127名
実施日 平成27年11月26日（木）
11月27日（金）

● 実施内容

○平成27年11月26日(木)、11月27日(金) 4年生4クラスをクラス毎に実施(各45分)

講座の目的：

「7.11水害」20年事業の一環として、失われつつある当時の記憶、教訓を次世代に伝え、将来起こる水害に対する心構えを身につけてもらうため、上越教育大学大学院山縣教授とともに出前講座を行うものです。

講座概要：

今回は第3回目の講座（全3回）で、
以下の内容について学習し、今までの講座のまとめをしました。

- ①通学路にある危ない場所、避難場所
- ②「7.11水害」における春日新田小学校周辺の被害
- ③「7.11水害」と洪水ハザードマップとの関係
- ④もし洪水が起こったら、どうすればよいのだろうか？
- ⑤「川は友達」

【山縣耕太郎教授 プロフィール】

所属：上越教育大学大学院学校教育研究科社会系教育講座教授

専門は自然地理学（島弧火山発達史、第四紀環境変遷史など）。

専門を活かし、上越教育大学が主催する出前講座では、「地域の災害を想定する」をテーマに防災教育を行っている。



講座風景

実施校 上越市立春日新田小学校

学年・人数 4年生・計127名
実施日 平成27年11月26日（木）
11月27日（金）

● 講座の様子



危険な場所について

第2回目講座で学習した洪水時の危険な場所について、みんなで復習しました。



通学路の確認

小学校周辺の地図を使い、小学校と家の場所にシールを貼って通学路の確認をしている様子です。



通学路にある危険な場所、避難場所について

危険な場所を黄色の付せんに、避難場所を青色の付せんに書き、地図に貼っている様子です。



危険な場所、避難場所をまとめたマップ

地図は、子供たちが探してきた危険な場所、避難場所が書かれた付せんでいっぱいになりました。



「7.11水害」における小学校周辺の被害について

小学校周辺の地図と水害時の浸水範囲を重ねている様子です。校区の広い範囲で浸水したことが分かりました。



「7.11水害」と洪水ハザードマップとの関係について

水害時と洪水ハザードマップの浸水範囲を重ねている様子です。浸水が想定されていない地域も絶対に安全であるとは言えないということが分かりました。



洪水が起きたときについて

避難に関する放送に注意する、浸水前に避難する、浸水が始まったら外を歩かないなどのお話がありました。



「川は友達」について

川は洪水が起きた時は怖いですが、普段は私たちに美しい景色や水を与えてくれる存在であるというお話がありました。



講座終了のあいさつ

全3回の講座の最後に、高田河川国道事務所職員から、この講座をきっかけにもしもの洪水に備えて家族で話し合いをしてほしいというお話がありました。